特集 新年度はじまる

ー平成30年度の主要施策と予算ー

主要施策

教育や子育て、産業振興、防災関連など、平成30年度に香美市が取り組む主な事業を紹介します。

継続事業

緊急用ヘリコプター離着陸場整備事業
8,430万円
これまで香美市内に7カ所整備しているヘリポート。今年度は土佐山田町内に1カ所整備する計画です。

防災行政無線デジタルシステム同報系整備事業
3億8,865万円
デジタル方式の防災無線を整備する事業で、3カ年計画の最終年度に当たり、香北町内の整備を行います。

集落活動センター事業
2,470万円
香北町美良布地区と土佐山田町平山地区の集落活動センター整備事業です。

鏡野中学校武道館・プール施設等整備工事
3億693万円
プール・武道館・卓球場・用務員室を集約した施設の新築工事等です。

木材住宅支援事業
2,000万円
香美市産木材を使用した住宅の新築・増改築に対する補助事業です。

都市計画道路新町西町線整備事業
7億4,894万円
全体的な事業完了は平成30年代半ばを予定しています。

児童クラブ建設事業
1,709万円
片地小と山田小の児童クラブについて、新築工事の設計を委託します。

移住定住促進事業
1,796万円
都市圏での移住相談会への参加や、移住定住交流業務のNPO法人への委託などを行います。

少子化対策事業
452万円
出会いイベント開催や、新婚世帯の住居費への補助などを行います。

東京2020木材提供事業　新規事業

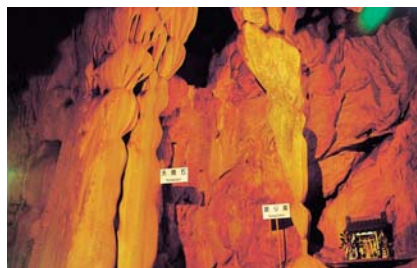
予算額 134万円

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザに、CLT工法の原料となる木材を提供し、香美市産木材のPRを行います。
※高知県・大豊町・香美市の共同事業

▲世界的大イベントへの木材提供は、市産材をアピールするチャンス。

観光拠点等整備事業　新規事業

予算額 1億3,598万円

龍河洞に再び活気を取り戻すため、観光客の満足度向上と安全対策を目的に施設整備を行います。また活性化の活動をソフト面から支えるため、地域づくり支援員の雇用も行います。

▲香美市が誇る観光資源の魅力を伝え、人を呼ぶ新しい挑戦。

平成30年度から産業振興課が2つの課に分かれ、**農林課**と**商工観光課**が誕生します。業務が多様化する産業振興部門を2つに分けることで、重点的かつ効率的に事業を推進します。

小中学校非構造部材耐震改修　新規事業

予算額 9,544万円

非構造部材（天井・壁・機器固定など）の耐震改修を行います。構造部分の耐震改修は、すでに全小中学校で施工が完了しています。

▲対象は舟入小・山田小・楠目小・片地小・香長小・大宮小・大栃小・香北中。改修済みは鏡野中・大栃中。

新図書館建設事業　新規事業

予算額 7,895万円

香美市の知の拠点として、新しい図書館を建設します。今年度は新図書館の設計委託（プロポーザル方式）とともに、建設用地の調査等を行います。

▲老朽化している現在の市立図書館。新図書館の建設とともに、蔵書や機能の充実も図っていく。

国際バカロレア教育　新規事業

予算額 130万円

国際的視野を持った人材を育成するための、チャレンジに満ちた国際教育プログラム。大宮小を候補校として申請。認定校になるまで3年間かかります。

▲香美市との交流が始まったオーストラリアのイマニュエル小学校も、国際バカロレア教育の認定校。

高等学校等遠距離通学費補助　新規事業

予算額 1,654万円

高等学校などにバスを利用して通学する生徒について、バス定期券購入費の一部を補助します。
教育振興課　☎53−1081

▲保護者の経済的な負担軽減とともに、中山間地域への定住促進やバスの利用促進などの効果も見込む。

ファミリーサポートセンター　新規事業

予算額 513万円

子育ての援助を受けたい人と子育てを支援したい人の連絡・調整を行い、安心して子育てができるよう、地域で支え合う有償ボランティア組織です。

▲多様化する子育てのニーズに応えていくための新規事業（写真は子育てセンターなかよしの様子）。